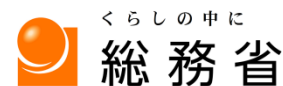


報道資料

MIC Ministry of Internal Affairs
and Communications

令和3年2月5日

Beyond 5G 新経営戦略センターにおける知財・標準化活動支援に係る提案募集

総務省は、「Beyond 5G 推進戦略 -6G へのロードマップ-」（令和2年6月）に基づき、国立研究開発法人情報通信研究機構と協力し、産学官の主要プレイヤーが参画し、戦略的に知財取得・標準化に取り組むことを目的として、令和2年12月18日に、「Beyond 5G 新経営戦略センター」を設立しました。

今般、本センターにおいて取り組む支援内容の検討等に資するため、令和3年2月5日（金）から同年3月4日（木）まで、提案を募集します。

1 趣旨

総務省では、「Beyond 5G 推進戦略 -6G へのロードマップ-」（令和2年6月）に基づき、産学官の主要プレイヤーが参画し、戦略的に知財取得・標準化に取り組むことを目的として、令和2年12月18日に、「Beyond 5G 新経営戦略センター」（共同センター長：森川博之（東京大学大学院工学系研究科教授）、柳川範之（東京大学大学院経済学研究科教授）、事務局：国立研究開発法人情報通信研究機構）を設立しました。

本センターでは、知財・標準化を駆使した市場の形成や新規参入、革新的な技術・サービスの開発や社会実装等を主体的・戦略的に推進しようとする民間企業・大学等の取組みを促進するため、これらの取組みへの支援、参考情報の提供や協同する場の提供、普及啓発等を行うこととしています。

本提案募集は、本センターにおいて取り組む支援内容の検討等に資するため、企業・大学等による知財・標準化に関連する活動への支援等に関する提案を広く募集するものです。

2 募集の詳細

募集概要：別紙のとおり

提出様式：

様式1 知財・標準化を駆使した戦略的な事業推進に資する支援内容に関する提案

様式2 Beyond 5G 新経営戦略センターに期待する活動内容に関する提案

様式3 知財・標準化を駆使した戦略的な事業推進において課題となる現行制度等へのご要望

3 応募方法

提案される方は、様式に必要事項を日本語にて記入の上、提出期限までに電子メール又は郵送により次の提出先まで提出してください。

(提出先)

〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2

総務省国際戦略局通信規格課 Beyond 5G 新経営戦略センター担当 宛

電話：03-5253-5763

電子メール：b5gnbsc-sec_atmark_ml.soumu.go.jp

※ 迷惑メール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。なお、電子メールによる提出の場合、ファイルは 5MB 以下となるようにお願いいたします。

4 応募期限

令和 3 年 3 月 4 日（木）正午必着

（郵送の場合も、令和 3 年 3 月 4 日（木）正午必着とします。）

関係報道資料

○「Beyond 5G 推進戦略 -6G へのロードマップ-」の公表（令和 2 年 6 月 30 日発表）

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban09_02000364.html

○「Beyond 5G 新経営戦略センター」の立ち上げ及びキックオフシンポジウムの開催（令和 2 年 11 月 27 日発表）

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin04_02000100.html

○「Beyond 5G 推進コンソーシアム」の設立及び設立総会の開催並びに「Beyond 5G 新経営戦略センター」の設立（令和 2 年 12 月 11 日発表）

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban14_02000484.html

(連絡先)

総務省 国際戦略局 通信規格課

担当：渡邊標準化推進官、稲森専門職、

佐々木標準企画係長、望月国際係長、堀江調査員

電話：03-5253-5763

FAX：03-5253-5732

1 提出様式

別添様式に、氏名及び住所（法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地並びに連絡先（電話番号又は電子メールアドレス）を明記の上、提出期限までに日本語で提出してください。

提案を補足する資料があれば、A 4 判（様式自由）で添付してください。

2 提出方法・提出先

提案は、次のいずれかの方法により送付するものとし、提出媒体は基本的に電子媒体としてください。なお、郵送の場合、提出頂いた提案を電子媒体により提出していただくようお願いする場合があります。

（１）電子メールを利用する場合

電子メールアドレス： b5gnbsc-sec_atmark_ml.soumu.go.jp

（スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。）

国際戦略局通信規格課 宛て

（２）郵送する場合

〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2

総務省国際戦略局通信規格課 宛て

3 留意事項

- 本提案募集で提出された提案等につきましては、今後の Beyond 5G 新経営戦略センターにおける議論の参考とさせていただきます。
- 提案等が 1000 字を超える場合、その内容の要旨を添付してください。
- ご記入いただいた氏名（法人等にあつてはその名称及び代表者の氏名）、住所（所在地）、電話番号、メールアドレスは、提案内容に不明な点があった場合やヒアリング依頼等の連絡のため、利用することがあります。
- 提案等に対する個別の回答はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 提出期間の終了後に提出されたもの、募集内容以外についてのものは、提案として取り扱わないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 提出された提案等は、整理・要約したものを公にすることがありますので、あらかじめご了承ください。なお、提案提出者名については、非公表とします。
- ご不明点等ある場合は、総務省国際戦略局通信規格課（電話：03-5253-5763/メールアドレス：b5gnbsc-sec_atmark_ml.soumu.go.jp）までご連絡ください（※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。）。

以 上

様式１：知財・標準化を駆使した戦略的な事業推進に資する支援内容に関する提案**提出者情報**

会員/非会員※１	
所属（会社名・団体名等）※２	
氏名 ※３	
住所 ※３	
連絡先	連絡担当者氏名： 電話： e-mail：

※１ 「法人会員」、「有識者会員」、「特別会員」、「非会員」 から、該当するものをご記入ください。

※２ 個人の場合は「個人」とご記入ください。

※３ 法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地をご記入ください。

提案提出フォーマット**ア）知財・標準化を駆使した戦略的な事業推進に資する支援内容案について**

Beyond 5G の実現に向けて、知的財産権の取得及び国際標準化を戦略的に推進することで、国際競争力を高めゲームチェンジを図るため、「Beyond 5G 新経営戦略センター」に期待する支援策等について、具体的な内容を記載の上、ご提案ください。

イ) 必要な支援規模について

上記ア) にて提案いただいた支援内容を実施するにあたって最低限必要と想定される支援規模（期間及び金額）について、可能な範囲で記載してください。※期間は、原則１年間（最大）となります。

ウ) 提案の背景（現状抱えている課題等）及び支援による効果について

上記ア) の提案に至った背景や課題等について、また、提案いただいた支援内容を実施することによって期待される効果について、可能な範囲でご記載ください。

様式 2 : Beyond 5G新経営戦略センターに期待する活動内容に関する提案

提出者情報

会員/非会員※ 1	
所属（会社名・団体名等）※ 2	
氏名 ※ 3	
住所 ※ 3	
連絡先	連絡担当者氏名 : 電話 : e-mail :

※ 1 「法人会員」、「有識者会員」、「特別会員」、「非会員」 から、該当するものをご記入ください。

※ 2 個人の場合は「個人」とご記入ください。

※ 3 法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地をご記入ください。

提案提出フォーマット

ア）知財・標準化を駆使した戦略的な事業推進に資する「Beyond 5G 新経営戦略センター」に期待する活動内容案について

Beyond 5G の実現に向けて、知的財産権の取得及び国際標準化を戦略的に推進することで、国際競争力を高めゲームチェンジを図るため、「Beyond 5G 新経営戦略センター」が取り組むべき事業や活動、会員に提供すべき情報等について、具体的な内容を記載の上ご提案ください。その際、提案に至った背景や課題等についても、可能な範囲でご記載ください。

イ) 登壇を希望する講演者や内容について

上記ア) にて提案いただいた支援内容案のうち、イベント開催についてご提案された場合、どのような内容で、どういった方のお話を聞きたいか等、具体的な内容・人物名を記載して下さい。

様式 3：知財・標準化を駆使した戦略的な事業推進において課題となる現行制度等へのご要望**提出者情報**

会員/非会員※ 1	
所属（会社名・団体名等）※ 2	
氏名 ※ 3	
住所 ※ 3	
連絡先	連絡担当者氏名： 電話： e-mail：

※ 1 「法人会員」、「有識者会員」、「特別会員」、「非会員」 から、該当するものをご記入ください。

※ 2 個人の場合は「個人」とご記入ください。

※ 3 法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地をご記入ください。

提案提出フォーマット

以下の 3－1）から 3－3）のうち、該当箇所について記載の上、ご提案ください。

3－1）知財・標準化を駆使した戦略的な事業推進において課題となる現行制度について

企業等が、研究開発成果としての技術を事業に結びつけるための知財・標準化活動等を推進するにあたって、課題となる現行制度やガイドライン等に関し、以下の項目について記載してください。

〔課題イメージ〕

- ・ 現行制度による制約のため事業の実現が難しい。
- ・ 法制度に関するガイドライン等がなく、解釈が分からない。
- ・ 既存のガイドラインでは内容が古く現状と合わない。

＜記載いただきたい項目＞

ア) 課題となる現行制度について、関係法令等（ガイドライン等を含む。以下同様。）の名称および該当箇所

イ) 上記ア) の具体的課題

ウ) 課題解決のための方向性及びそれにより期待される効果

※可能な限り具体的な記載をお願い致します。

（注）記載内容に非公開事項があれば、その部分を明記してください。

3－2）事業の適法性の確認が難しい事例について

Beyond 5G 関係で、現在検討中の新規事業やサービスについて、特に知財面等の制度的観点から進めてよいかの判断ができないものがあれば、以下の項目について可能な範囲で記載してください。

＜項目＞

ア) 検討中の新規事業やサービスの概要

イ) 制度面での懸案事項

ウ) 関係法令等の名称および該当箇所

(注) 記載内容に非公開事項があれば、その部分を明記してください。

3－3）民民間の協議を促進するために政府が場を提供することが望ましいものについて

「現行制度上、利害関係等の懸念により民間のステークホルダーだけでは議論がしにくいが、政府が関係者間の協議の場を提供することで、民民間の協議進展が期待されるもの」があれば、以下の項目について記載してください。

<項目>

- ア) 協議したいテーマ名（「～について」といったように記載ください。）
- イ) 議論に参加することが望ましいメンバー（具体的な名称でなく、業種等でも結構です。）
- ウ) 議論内容（こういった内容の議論を行いたいのか、ご記載ください。）

（注）記載内容に非公開事項があれば、その部分を明記してください。

3－4）独立行政法人の活用について

情報通信研究機構(NICT)、情報処理推進機構(IPA)、産業技術総合研究所(AIST)等の独立行政法人に、知的財産権の取得や標準化を戦略的に推進する観点から、提供してほしい機能などがあれば、以下の項目について記載してください。

<項目>

- ア) 提供してほしい機能（「～について」といったように記載ください。）
- イ) 上記ア)の機能を活用することによる効果